



一般質問..... P 2

林活議連視察調査..... P 6

行政報告..... P 7  
ヒグマによる「酪農・畜産被害」等

決算審議結果..... P 8  
平成20年度決算審査

全道議員研修会報告... P 8

町議会審議結果..... P 9  
7月臨時会から  
8月臨時会から  
9月定例会から

委員会の動き..... P 10



「第51回層雲峡小学校学芸会」

# 一般質問

平成21年度第7回町議会（定例）の一般質問は、9月16日に行われ、6議員6項目について町長の考え方を問いました。

## フツ化物洗口の危険性について

安部 議員

を口にさせる事は止めるべきです。上川町は道内で実施している8市町に入っていない。なぜ安全性を含め先行実施しているのか伺いたい。

2つ目に保護者および本人の同意の取り付けおよび負担はどうなっているのか。3つ目に事故が起きたときの責任の所在と今後止める考えはあるのか伺いたいと思います。



(フツ素洗口の様子)

本町においては、「フツ素洗口事業」を平成7年度から、幼児のむし歯予防、歯の健康増進を目的に、幼稚園・保育所に在籍されている4歳から6歳までの幼児を対象に保健予防事業として、各施設のご協力をいただいで、週1回のフツ素洗口を実施いたしております。また、本町では、小学校・中学校におけるフツ素洗口事業は実施をいたしております。

安全性、有効性が確立していると判断

町長 答弁

を含めフツ素洗口を実施しているのか」との質問であります。道内での実施状況は、小学校では8市町、中学校では3町、幼稚園・保育所では22市町、管内で5市町となっております。次に、事業実施にあたっては、町内の歯科医の処方箋に基づき、洗口液は、劇薬指定の「ミラノール」ではなく、劇薬に指定されていない「フツ化ナトリウム」を使用していること、幼児に対する洗口においても、厚生労働省ガイドラインに沿った安全性が各施設のご協力により、十分に確保できることなどを考慮して実施しております。また、むし歯の発生時期は、幼児期の可能性が高いことから幼稚園・保育所における集団的な予防活動が効果的と考えております。

2点目は、「保護者、本人の同意の取り付けおよび負担について」の質問であります。毎年事業開始前に、保護者に対して、事業

内容の説明と事業参加の認を行い、同意を得られない家庭の幼児は、フツ素洗口ではなく、普通の水による洗口を行っております。また、事業に要する経費につきましては、全額公費負担となっております。

3点目は、「事故が起きたときの責任の所在と今後止める考えは」との質問であります。万が一フツ素洗口事業において、事故が発生した場合、町主体の保健予防事業でありますので、行政の責任となります。

次に、事業実施につきまは幼児のむし歯予防、歯の健康増進のためにフツ素洗口が効果的な予防法と考えております。また、フツ素洗口の安全性を懸念する意見があることも承知しております。様々な所見において、安全性、有効性が確立していることと判断をいたしているところであります。

健所における歯科保健医療業務指針」および「厚生労働省フツ化物洗口ガイドライン」に沿って、適正な使用方法を遵守するとともに、安全性に十分配慮をしながら、今後とも事業を実施してまいります。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 旭ヶ丘ベレルの活用は適正か

沢田 議員

旭ヶ丘にある町有施設ベレルは現在農協へ貸し付けをして夏期間のみ「レストラン ベレル」として主に観光客を対象に営業を行っております。今年の営業についてはシーズン最盛期とも言えるお盆をはさんで施設を閉め営業を休んでおりました。関係者に訊くとこのころによると大勢の観光客に多大な迷惑と不信感を与えたようであります。

旭ヶ丘の雄大なロケーションはそこを訪れる観光客に深い感動を与えて、再び訪れたいとの思いを抱かせる上川町の一級の宝物でもあると思います。

営業を休んでいたのにはそれなりの理由があったでしょうが、町としては施設を貸し付けている農協に対して町有施設の有効活用、質の高い利用方法等について指導、話し合いはどのようになされていたのか、また今後はどのような対応をなされていくのか伺いたいと思います。

町長 答弁

今後の営業にあたり、主旨に沿った対応をしていただく

この間議会などでご指摘を受け、また、お答えもさせていたいております。ことから、昨年10月にJA組合長に對しまして、改善要望をさせていただきまし。それを受け11月20日に

JAから人員の確保・営業時間・営業形態等を改善し平成21年度においても取り組むとの回答をいただきました。

4月21日より新たな従業員のもと大雪高原牛や渓谷・味豚などを使用した新メニューを創作し営業を開始いたしました。7月9日に奥さんが体調を崩され、以後病院へ受診するため何日間か休業せざるを得なかった状況となりました。

このことからJAあてに本人から退職の申し出があり、7月28日から8月17日までの間営業を休止する状態となっております。

この間、町といたしましても早期に営業を再開するよう再三申し入れを行い、JAも職業安定所に求人をするともに、町内の飲食店経験者にも話をされたようですが、適任者が見つからないことから営業再開が遅れ8月18日に至ったものであります。

旭ヶ丘地区は大雪山を眺望できる雄大なロケーションだけでなく、酪農・畜産・大根を始めとする畑作等の生産現場であり、また、「見える」さらには「体験」できる場として農業・商業・観光等産業振興にとって重要な地区であります。そして、その核となるのが「ベレル」であります。ことから、今後の営業にあたりまして、その主旨に沿った対応をしていただけるよう話し合いをしてまいります。



(レストラン ベレル)

次に、今後の対応についてお尋ねであります。旭ヶ丘地区につきましては昨年度から本地区の活性化計画を策定すべく、職員プロジェクトを設置し農業・商業・観光の有機的な連携

## 町外から通勤されている町職員について

笠間 議員

による、地域の活性化振興を図るための素案をまとめたところであり、今年度におきましては、この素案を基に町民の代表者による策定委員会を設置し、さらに議論を深め具体性のある計画を策定していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いいたします。

今現在町外から通勤されている町職員が7名もいる中、わが町の職員でありながらなぜ町内に住居・住民票を置かないのか、個々の事情はあると思いますが、職員である以上住んで頂くのが基本であり、地方自治法に保障され義務付けすることは無理なのは承知してはいますが、多大な影響を与えていると思われま



行政でかかえる人口減少・地方交付税の算定・税金・町内での消費、また通勤手当・住居手当においては、7名に対し年間約220万円の手当を支給している実態であり、町の職員として考え直すべきと私は思います。

そのような実態を今後抑制するためにも手当を廃止し、住民の皆様が一生懸命働き納めた税金をその大切な財源をもつと住民のためを使うべきではないでしょうか。持病を患い通院されている方、施設等へ送り迎



役場庁舎

康診査、がん検診などの各種検診結果に基づいて、個々人の状況に対応した訪問指導、健康相談、健康教育、栄養指導などを取り組んでおります。また、本人の同意を得て、病歴や常用薬などの情報提供を受けることで、より効果的な保健指導を行っているところであります。

高齢者は急病等の緊急時における救急隊との連携のために、容器、保管場所を統一しておりますが、保健指導に際して、情報提供を受けるデータ管理につきましては、内容が個人情報であること、それぞれの生活環境が異なることなどから、個々人の判断で適正に管理していただくことが重要と考えております。

今後とも、健康維持のためのデータ管理の必要性につきましても、保健指導を通じて、啓蒙を図ってまいります。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

えされている方と子供からお年寄りまで少しでも費用負担の軽減に努めるべきであり、安心・安全・福祉の充実した町づくりへの一歩だと私は思うのですが、今後このような実態をどのように抑え、どのように対策、改善へ進めていくのか町長の考えを伺いたい。

### 町長答弁

それぞれに事情があるが、今後も町内居住基本に考える

ご質問の趣旨については、十分理解をいたしますが、職員の町外からの通勤理由につきましては、結婚、家族の事情、専門職の人材確保など経過あるいはそれぞれの事情がある訳であります。

手当等の支給の廃止については、給与制度上から困難なものだといふふうに判断をしているところであります。また、今後におきまして

も採用時におきましては町内に居住してもらおうということ、基本に考えてまいりますのでご理解をお願いいたします。

### 救急医療情報キットの啓蒙指導について

中里 議員

先日北海道新聞の記事として、中央老人クラブで実施している「生命のバトン」について掲載されておりました。

ご承知のように、救急医療情報キットを各家庭で共通の場所に保管することに、急病等の緊急事態が発生した際に、救急隊の処置や搬送先の医療機関がスムーズな対応をする上で有効であると考えられております。

上川町も高齢化率が高く、中央老人クラブさんがいち早くこの事に着眼したのだと思っております。



(道警音楽隊の華麗なパフォーマンス)

にどのような関心をもっていらっしゃるのか、また今後の取り組み方について町長の考えをお聞かせ願いたいと思います。

### 町長答弁

地域住民の自主性を尊重する中で、取り組む

上川町の進める協働のまちづくりは、町民と町がそれぞれの役割と責任に基づ

現物を地域の方から見せて頂きましたが、これは高齢者のみならず広く町民全体を対象として、容器は各自で異なるにせよ保管場所を統一して、自分の健康に関するデータとか常備薬の記録を確認しながら、自分の健康維持に努力する大切さということで保健指導が必要ではないかと思っております。その点について行政の考えを伺いたいと思



(生命のバトン)

### 町長答弁

健康維持のためのデータ管理の必要性について啓蒙を図る

北海道新聞に掲載された中央老人クラブが主体

く自主性を尊重し、お互いに補い合うまちづくりを基本としており、町内におけるイベントについても一体だけではできないことを多くの人々が積極的に取り組むことで、町の活性化にもつながり、人と人とのつながりが深まるというふうに考えられます。

従いまして、今後も地域住民の自主性を尊重する中で、地域のイベントの継続発展に向けた役割を果たすべく、取り組んでまいりますので、ご理解をお願いいたします。

### 観光と農業の振興対策について

菅家 議員

経済不況の折、温泉各ホテルとも入り込みが35%を割込み、大変だとの切実な声が寄せられております。行政としては対策を考えられているのか。また、地球

的に実施をしております「生命のバトン」事業につきましては、高齢化率の高い本町においては、有意義な取り組みであり、町としてもスムーズな事業実施を期待しているところであります。

この事業の準備にあたっては、中央老人クラブの役員の方々から相談を受け、町として消防署、社会福祉協議会など関係機関との連絡調整、事業内容の精査など、可能な範囲で協力をいたしました。今後とも中央老人クラブの主体性を尊重しながら、事業が円滑に運営されるよう支援をしていきたいというふうに存じております。

さて、町民一人ひとりが自分の健康に関心を持ち、健康診査の結果、病院での受診内容、常用薬などのデータを保管することは、自己の健康管理・維持において必要なことであるといふふうに考えております。町の保健指導は、特定健

の温暖化が大きな原因だと思われませんが、水稲、畑作、畜産農家についても大変に厳しい年になるのではと思えますが、町長は対策を考へられているのかお伺いたします。

### 町長答弁

観光は引き続き誘客に努め、農業は農家負担の軽減を図る

観光につきましては、昨年から経済不況、雇用不安等々、さらには今年の新インフルエンザによる旅行控え、長雨などの天候不順等による影響が、宿泊・入り込みともに減少の要因となっている訳であります。

この対応といたしまして、層雲峡観光協会並びに層雲峡温泉旅館組合が、昨年実施いたしました「一期一会の温泉感謝祭」を今年も引き続き「一期一会のなごみ祭」として9月



1日から12月20日までの間  
実施をいたしますが、昨年  
同様に500万円の補助金  
を交付し支援してまいりま  
す。

また、紅葉期に少しでも  
多くの観光客が来ていただ  
けるよう、本年作製いたし  
ました紅葉PR用ポスター  
を町内はもとより旭川市  
内、札幌圏他の多くの人が  
出入りする施設、店舗等に  
掲示をいただき誘客宣伝P  
Rに努めております。

さらには、農業・商業・  
観光・行政連携事業として  
の「一期一会のなごみ祭」、  
来年開催の「層雲峡氷瀑ま  
つり」の宣伝PRと「地場  
産品のPRと販売」を目的  
に9月12日から13日に層雲  
峡黒岳ロープウェイ駅舎に  
おいて「大雪山クリーン  
アップ事業、観光と地場産  
品フェア」を実施いたしま  
した。

また、9月25日から27日  
には札幌市で開催されます  
「サツポロオータムフェス  
ト2009」に出店をし、

宣伝及びPR販売すること  
をいたしております。

誘客対策として、6月15  
日から19日の間、韓国・シ  
ンガポールにおいて観光P  
R及び観光セールスをあさ  
ひかわ観光誘致宣伝協議会  
主催で、旭川市長とともに  
関係する機関、団体に対し  
トップセールスを実施し、  
外国人観光客の誘客を図つ  
てまいりました。

9月29日、30日には、昨  
年に引き続き町・観光協会・  
温泉旅館組合とともに札幌、  
東京の大手エージェンツに  
対しまして表敬訪問を予定  
し、首都圏からの誘客に努  
めてまいります。

次に農業であります。水  
稲につきましては、日照  
不足、低温、長雨等により、  
生育状況は6日から7日遅  
れとなっております。不  
稔割合も平年より高い20%  
程度と見込まれており、こ  
ろであります。

9月16日より「悉皆調  
査」、24日には「採取調査」  
を実施する予定でありま

す。

畑作につきましては、作  
付け時期の長雨により作業  
の遅れ、日照不足、低温等  
により収量・品質ともにや  
や不良の状態であります。

こうした中で、国の経済対  
策事業として「需要即応型  
水田農業確立推進事業」が  
予算化され、転作物物に対  
して10アール当たり1万5  
000円を上乗せ助成され  
ることから、上川町として  
も取り組んでまいります。

さらには、昨年来続いて  
おります肥料等の高騰に対  
する対応として「肥料・燃  
油価格高騰緊急対策事業」  
に取り組み農業者に対しま  
して、自己負担の一部を助  
成する予算措置（300万  
円）をしているとともに、  
「農業経営継続緊急支援資  
金」借受者に対する利子補  
給を講じております。

酪農・畜産であります。既  
存借入金資金を低利子で、  
農業者により利な資金への借  
換えを積極的に進めるとと  
もに、町としても利子の一

部を助成し、農家負担の軽  
減を図る対応をしてまいり  
たいというふうにご理解いた  
しますので、ご理解いただ  
きたいと思っております。

## 国有林伐採問題の 現地を視察調査

上川中部森林管理署（旭  
川）が進める大雪ダム周辺  
の国有林伐採の計画や作業  
方法が疑問視されている問  
題で、森林、林業、林産業  
活性化推進上川町議会議員  
連盟（安部逸雄会長）では、  
佐藤芳治町長ら町執行部局  
とともに9月28日、同署の  
小原正人署長を案内役に見  
地を視察しました。



（林活議連による現地視察の様子）

新聞に大きく取り上げら  
れ、また町内の自然保護関  
係者からも情報提供があり  
現状を把握するためにに行  
ったものです。

視察現場は天幕沢林道と  
三角沢林道近くの5カ所  
で、伐採した木の集積場付  
近を中心に、伐採木の種類  
や大きさ、作業道が不必要  
に広くないかなどの確認を  
行いました。

視察した限りでは不当に  
荒らされている印象は持ち  
ませんでしたが、今後問題  
があれば再度現場を調査し  
たいと考えています。

# 町長からの 行政報告

9月定例会

## ヒグマによる「酪農・畜産被害」並びに 「高原温泉沼巡りコース閉鎖」について

菊水・旭ヶ丘地区におき  
まして、4月よりヒグマの  
出没により牛が襲われる被  
害が多発いたしました。

5月2日藤井牧場におき  
まして子牛8頭が死傷し、  
内4頭が死亡、同日グリー  
ンサポートで成牛1頭が死  
亡、8月12日阪本牧場で子  
牛2頭が死亡、8月24日フ  
ロンティで子牛8頭が死傷  
し、5頭が死亡する被害が  
ありました。

この間、生産者において  
は牛舎周りに電気柵を設  
置、牛舎出入り口の補強な  
どの対策をとり、町におい  
ては、3台のクマ捕獲オリ  
を設置するとともに、猟友  
会の協力を得ながら対応し

てまいりました。さらには、「ヒグマ出没  
注意」の立て看板を設置す  
るとともに、地区住民並び  
に全町内会に対して文書を  
もって注意喚起の周知をい  
たしました。

捕獲状況であります。5  
月8日には、大雪牧場及  
びグリーンサポート草地  
で、それぞれ1頭を捕獲、  
8月30日阪本牧場で1頭を  
捕獲いたしました。おそら  
く、このクマが牛を襲った  
クマと思われるが、引き  
続き警戒を続けてまいりま  
す。

9月1日には、畜産農  
家・JA・町・猟友会が参  
集し「ヒグマ防除対策検討

会」を開催し、今後の対応  
について検討をいたしました。  
その中でクマの習性等  
を知ったうえで、クマを誘  
引させないため、

配合飼料タンクを囲う  
牛舎、デントコーン畑  
に電気柵を設置する  
人材育成として狩猟  
（わな）免許の取得の促  
進を図る

牛舎周りのさらなる防  
除対策  
牛舎周り、デントコー  
ン作付地等の緩衝帯の設  
置

以上、畜産農家全戸の統一  
した取り組みとして、対策  
を図ることを確認いたしま  
した。

これからクマの活動が活  
発になり、人里近くに出没  
いたしますので、引き続き  
警戒を続けてまいります。

次に、高原温泉沼巡り  
コースにおけるクマ出没に  
よるコース閉鎖であります  
が、8月7日大学沼におい  
て若い雄グマが監視員の音  
出し等に無反応で逃げない



（捕らえられたヒグマ）

ため、上川支庁・関係者・  
町で協議をした結果、監視  
員並びに観光客の安全を第  
一に考えて、8月8日より  
コース閉鎖といたしました

た。しかしながら、紅葉期  
の観光への影響等を考慮  
し、早期に開放できるよう  
関係機関との調整を図りつ  
つ「高原温泉地区ヒグマ対  
策連絡会議」をこの間3回  
開催し、9月9日の会議に  
おいて10日より開放との結  
論に至ったものでありま  
す。

この開放にあたっては、  
入山者に対するレクチャー  
の強化、クマの動向情報の  
把握、避難誘導、安全強化  
を図っての開放でありま  
す。今後とも関係機関と協  
力し、安全を最優先として  
対応してまいります。

## まちの議会を 傍聴して みませんか

次の定例会は  
12月開催予定です。

問い合わせ先  
議会事務局 ☎ 2 - 1211  
（内線300）



# 決算審査特別委員会審議結果

《決算審議で質疑応答がなされた中の総括質問の一部を紹介します。》

## 総括質問

質 問	答 弁
公園や施設の整備・維持管理について、今後に向けて年次計画を立ててよい環境づくりを。	財政的問題が背景にあり予算措置不足は否めない事実と受け止めている。今後細部にわたってきちっと捉えて指摘のないような状況にもっていくよう努力したい。
東京上川会や札幌大雪会に行くばかりでなく、年間予算を組んで一度まとまって上川に来てもらう大胆な方策を立てて、上川町が使った分のお金をまた町に落としてもらうとか、またふるさと夢大使の活用を考えてみてはどうか。	東京上川会や札幌大雪会に出向き、こちらの現状などをお話しする対応をしている。向こうから来る予算については今後の検討としたい。二つの組織はさらに拡大をし町にプラスになる機能を果たすことを求めている。また、ふるさと夢大使を知っている人も少なく、やり方については、今後見直しを検討したい。
職員は少数精鋭で行政推進をしている現状である。グループ制の効果や職員研修、理事者や職員間のコミュニケーションについて。	グループ制については、お互いに助け合う状況が作られてきているなど総体的な効果が出てきている。職員研修については幅広く深い知識が求められており、今まで以上に研修が必要なので心がけたい。時代とともにコミュニケーションが欠けてきているが、どうコミュニケーションを図る工夫ができるのか考えて進めたい。
診療所運営に期待する。 将来負担比率の今後の改善策 冬場に向けて、商店、まちばの中の一人で事業を行っているところについても配慮していただきたい。	病院問題は計画どおり進めたい。 将来負担比率については非常に解りにくい数値である。H22年度に起債償還がピークになるので区画整理事業、債務負担も減っていき数値も下がっていく。今後も説明する場を設けていく。 経済状況については今年は最悪で、冬に向けて状況が厳しくなっていく。特に零細企業者は厳しい部分というのがあるので、工夫をしながら眼を当てて行政としても支援できればと思っている。

## 北海道町村議会 議員研修会

平成21年度北海道町村議会議員の研修会が、6月30日に札幌コンベンションホールで開催されました。

「住民自治時代の議会の役割と課題」と題して山梨学院大学教授の江藤俊昭氏から、「どうなる日本の政治と経済」というテーマで、テレビなどでもお馴染みの読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏による講演が行われました。



(講演を熱心に聴く議員の様子)

## 町議会 審議結果

### 7月定例会

平成21年第5回上川町議会(臨時3)は、財産の取得、条例の制定や平成20年

度一般会計補正予算など8件が審議されました。主な内容は次のとおりです。

可決議案等  
財産(除雪グレーダ)の取得は、更新をするもので取得予定価格が700万円を超えることから議会の議決をするもの

町立診療所設置条例及び町立介護老人保健施設設置条例の制定については、現

度一般会計補正予算(第2号)は、

町立病院を診療所と老人保健施設への転換を行うための制定

町立病院事業会計補正予算は、主に地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の補正

町立病院事業会計補正予算は、主に地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の補正

町立病院事業会計補正予算(第4号)は、歳出において、ロータリ除雪装置購入事業、上川町周辺地区サイン整備事業、町道等の維持補修増に伴う緊急整備費に不足が生じたことによる補正と上川小学校校舎耐震化改修工事実施設計業務の補正。歳入において、これら事業実施に伴う交付金、補助金、町債などの補正



平成21年第6回上川町議会(臨時4)は、所管事務

町立病院事業会計補正予算は、主に地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び介護老人保健施設転換補助事業に伴う補正

町立病院事業会計補正予算(第3号)は、歳出において、ロータリ除雪装置購入事業、上川町周辺地区サイン整備事業、町道等の維持補修増に伴う緊急整備費に不足が生じたことによる補正と上川小学校校舎耐震化改修工事実施設計業務の補正。歳入において、これら事業実施に伴う交付金、補助金、町債などの補正

町立病院事業会計補正予算(第4号)は、歳出において、ロータリ除雪装置購入事業、上川町周辺地区サイン整備事業、町道等の維持補修増に伴う緊急整備費に不足が生じたことによる補正と上川小学校校舎耐震化改修工事実施設計業務の補正。歳入において、これら事業実施に伴う交付金、補助金、町債などの補正

# 委員会の動き

## 総務文教

7月27日 付託事件調査  
議案第52号 上川町安全安心まちづくり条例の制定について

この条例は、全国的に各種犯罪、死亡交通事故が増加していることから町民や観光客に対し治安の良いまちづくりが求められており、町民、事業者、住民組織、関係団体などの協力により、安心で安全な暮らしができる地域社会の実現のために制定するものである。

条例の内容は、基本理念、町、町民、事業者、住民組織、関係団体の役割、安全確保、安全教育及び非行防止対策等に関する事項を定め、全15条で構成され

ており、平成21年10月1日から施行されるものである。

本委員会は慎重に審査し、採決の結果、全会一致で原案どおり可決することと決定した。

7月29・30日 先進地行政視察調査

使用済み食用油の利活用について、北広島市の視察を行いました。



(北広島市庁舎前にて)

## 産業福祉

7月29・30日 先進地行政視察調査

診療所の運営状況について及び老人保健施設の運営状況について、妹背牛町や上砂川町の視察を行いました。



(熱心に説明を聞く委員ら)

## 議会運営委員会

8月4日 先進地行政視察調査

議会の活性化について北竜町の視察を行いました。

## 意見書の提出

提出者 大西 裕 議員  
提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、  
総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

## 道路の整備に関する意見書

## 編集後記

上川町の観光の目玉であります紅葉の時期も終わり、日に気温が下がり温度差が激しい季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年の初夏から今日までを振り返りますと天候から経済情勢まで非常に不安定な日々が続いたように思います。

天候では長雨による農作物への影響が心配されましたが、上川町は大きな影響も出さず無事収穫されたのかと思います。

また、8月に行われた総選挙において政権交代し今後日本国、地方行政に期待されている方、その反面不安を抱く方様々な考えを持たれていると思いますが、住民の生活を第一に考え官民一体となりまい進していく所存であります。

(笠間 記)

### 議会広報特別委員会

委員長 安部 逸雄  
副委員長 笠間 法考  
委員 遠藤 和男  
" 川上 隆士  
" 久米 得正



議会広報は、町ホームページでもご覧いただけます。

## 議会・議会広報

に対して、みなさまのご意見をお寄せください。

役場議会事務局へ 電話 2 - 1211 (内線300)